

レ ッ ジ ョ からの学び方を学ぶ

浅井幸子（東京大学）

レッジョ・エミリアの幼児教育

2つの側面

創造性
アート

民主主義

市民としての子ども

レッジョ・エミリア市とスウェーデンの出会いによって構築され
たレッジョ理解

民主主義社会をつくる公共空間としての学校

私たちの眼に映るレッジョ・エミリアは、希望の使徒である。その胸に抱かれているのは、フランスの哲学者ジル・ドゥルーズの語を用いていえば、「世界への信頼」である。それはまた、子ども文化の変革と学校再生への希望をけっして手離そうとしない。学校は、公共の広場であり、民主主義的な社会は、まさにそのような公共空間を核にして形づくられていくと考えている。

「私たちのレッジョ・エミリア」

(Dahlberg and Moss in Rinaldi 2005)

スウェーデンのナショナル・カリキュラムの価値

就学前学校は、民主主義という価値観の基礎の上に立っている。

学校法(2010; 800)は、就学前学校の目的を、子どもたちによる知識や価値の獲得及びそれらの発展であると規定している。すべての子どもの育ちと学び、そして生涯続く学びへの意欲を支え促すべきである。就学前学校の重要な任務は、スウェーデン社会の基盤をなす人権尊重と民主主義的な価値観への敬意を子どもたちに授け、確立することである。就学前学校に携わる誰もが、一人ひとりに内在する価値を尊重し、我々が分かち合っている環境を大切にしよう励まさなければならない。

スウェーデンのナショナル・カリキュラムの価値

人の生命の不可侵性、個人の自由と尊厳、誰もが等しく価値を持つこと、ジェンダーの平等、そして弱者や傷つきやすい者との連帯といったことは、就学前学校における子どもたちとのかかわりにおいて、積極的にとりあげなければならない価値観である。

就学前学校における活動は、民主的に取り組まれるべきである。つまり、社会へ積極的に参加するうえで、子どもたち自身の責任感や興味関心がより育まれるような基盤を提供するということである。

スウェーデンのレッジョ・インスピレーション

包括的な幼児教育教育改革

- 理論的探究 幼児とはどのようなものか
幼児の施設 (institute) とはどのようなものか
ポスト基礎づけ主義の哲学による問いなおし
- 実践的探究 ドキュメンテーションによるリフレクション
子どもの声の聴き方、子どもの見方
- 教育政策 ナショナル・カリキュラムへのインパクト

持続的であること、平等であること、根源的であること

スウェーデンのレッジョ・インスピレーション

ネットワークと関係の構築

就学前学校

レッジョ・エミリア・インスティテュート

ストックホルム（教育）大学

就学前学校

自治体、国

レッジョ・チルドレン

1 「遊び（play）」の概念の位置付け

木のプロジェクト・ノロジカプロジェクト

遊びが重要な概念となったとき、
遊び（伝統的な中心的な概念）はどのように位置づけるのか？

遊びはこの活動の外にあるのか
中にあるとしたら、どのように位置づいているのか

2 「関係の場としての学び」における「（権威的な）知識」の位置

木のプロジェクト

葉緑体、クロロフィルムといった言葉の導入

酸素と呼吸の仮説

ノロジカのプロジェクト

子どもたちが黒い斑点に気づく

保護者の「生物学者」に尋ねる。「カビ」である。

「カビ」を探求する。

権威的な知識を導入すること

子どもたちが自らの意味形成・探求・ファンタジーに価値を置くこと

小・中・高等学校への接続

3 教育ドキュメンテーションをどのようなものとして理解するか

learningの記録

日本のドキュメンテーション（記録）の伝統
物語的な実践記録・制度的な保育記録
子ども理解 子どもの成長・変化

教育ドキュメンテーション
子どもの観察記録ではない（Dahlberg et al. 1999）
子どもの成長の記録ではない（？）
子どもと教師の探求の記録、研究論文
幼児教育を変える